

「ノーマイカーデーひろしま2005～ひと・環境への思いやり～」 の実施結果について(概要)

今年9月に実施したノーマイカーデーひろしま2005の実施結果を取りまとめましたので、ご報告します。

1 実施概要

| | |
|------|--|
| 名 称 | ノーマイカーデーひろしま2005 ～ひと・環境への思いやり～ |
| 目 的 | 環境の視点から自動車利用に対する市民・企業等の意識や習慣を変えることで、日常的なマイカー利用の自粛や相乗り乗車など一人一人の自発的な行動変化の普及につなげていくことを目的にノーマイカーデー運動を実施しました。 |
| 実施主体 | ノーマイカーデーひろしま実行委員会（事務局 広島市、中国運輸局、中国経済産業局） |
| 実施日 | 9月22日(木)、23日(祝)の2日間をノーマイカーデーとして実施。 キャンペーン期間として8月10日(水)～9月30日(金)に関連イベント等を実施。 |
| 実施内容 | <p>◆広報活動やイベントでのPRを実施</p> <p>チラシ、ホームページ等により公共交通機関の利用など環境にやさしい交通行動の実践を広く呼びかけるとともに、関係機関や市民団体等と連携しイベントでのPRを実施しました。</p> <p>◆参加モニターは、総数で約3,800名</p> <p>ノーマイカーデー参加モニターとしては、市内の83事業所や市民の皆様から約2,400名の参加登録をいただきました。</p> <p>また、連携策として、中国運輸局が実施したモビリティ・マネジメント・プログラム※では、事業所(31主体)、行政機関(国の6機関、2自治体)から約1,400名のモニター参加登録をいただきました。</p> <p>◆ノーマイカーデー当日は代替交通機関の利便性向上策を実施</p> <p>交通事業者や広島県警等と連携を図り、公共交通機関の臨時便の運行やバスレーンの取締りなど、代替交通機関の利便性向上策を実施しました。</p> <p>◆取組の成果や課題を検証するため交通実態調査やアンケート調査を実施</p> <p>取組の成果や課題を検証するため、交通量、渋滞長等の効果計測や参加モニターの方にアンケート調査を実施しました。</p> |

※ モビリティ・マネジメント(MM)とは、ひとり一人のモビリティ(移動)が交通環境にとって望ましい方向に変化することを期待するコミュニケーションを中心とした交通施策のことです。

＝参考＝

■ノーマイカーデー参加企業(83事業所)

青木あすなろ建設株式会社広島支店、朝日精版印刷株式会社、株式会社荒谷建設コンサルタント、株式会社エネルギー・コミュニケーションズ、株式会社エネルギー人材ソリューション、株式会社エネルギー・ライフ&アクセス、株式会社エネルギー・ロジスティックス、エンジェルパルテ、カルビー株式会社広島工場、株式会社九州設備公社、広成建設株式会社広島支店、株式会社鴻池組広島支店、三機工業株式会社中国支店、山陽工業株式会社、株式会社シンコー、株式会社セノン中国支社、株式会社竹中工務店広島支店、中国印刷株式会社、中国企業株式会社、中国高圧コンクリート工業株式会社、中国ジェイアールバス株式会社、中国電機製造株式会社、中国電力株式会社、中国電力株式会社広島営業所、中国電力株式会社広島北営業所、中国電力株式会社広島北電力所、中国電力株式会社広島支社、中国電力株式会社広島電力所、中電環境テクノス株式会社、中電技術コンサルタント株式会社、中電工業株式会社、中電プラント株式会社、株式会社中電工、株式会社TSSソフトウェア、テンパール工業株式会社、東宝ビル管理株式会社中国支社、西日本旅客鉄道株式会社広島支社広島運転所、西日本旅客鉄道株式会社広島支社広島新幹線運転所、西日本旅客鉄道株式会社広島支社広島新幹線電気区、西日本旅客鉄道株式会社広島新幹線運転所乗務員派出、西松建設株式会社中国支店、日本アイ・ビー・エム株式会社広島事業所、日本貨物鉄道株式会社広島車両所、日本銀行広島支店、株式会社ハイエレコン、広島環境サポーターネットワーク、株式会社広島銀行ゲネシスビル、広島工業大学専門学校、広島高速道路公社、株式会社広島シティケーブルテレビ、広島テレビ放送株式会社、広島電鉄株式会社、株式会社広島東洋カーブ、株式会社広島プリンスホテル、株式会社広島ホームテレビ、富士通株式会社中国営業本部、前田建設工業株式会社中国支店、松田病院、マロックス株式会社、マロックス株式会社外資事務所、三菱重工業株式会社中国支社、三菱重工業株式会社広島製作所、三菱電機ビルテクノサービス株式会社広島支店、明治乳業株式会社中国支店、八洲管理株式会社、八千代エンジニアリング株式会社広島支店、株式会社リーガロイヤルホテル広島

注) 名称の掲載についてご了承いただいた67事業所を掲載しています。

■「上手なクルマの使い方を考えるプログラム」(モビリティ・マネジメント・プログラム)参加企業(31事業所)

株式会社アンフィニ広島、株式会社エネルギー・コミュニケーションズ、可部自動車学校、庚午自動車学校、高陽自動車学校、中国企業株式会社、中国高圧コンクリート工業株式会社、中国自動車学校、株式会社中国新聞社、中国電力株式会社、中電技術コンサルタント株式会社、株式会社中電工、西日本旅客鉄道株式会社広島支社、日産プリンス広島販売株式会社、社団法人日本自動車連盟(JAF)広島支部、沼田自動車学校、広島ガス株式会社、広島環境サポーターネットワーク、広島県自動車学校、株式会社広島シティケーブルテレビ、広島中央自動車学校、広島電鉄株式会社、広島トヨペット株式会社、広島日産自動車株式会社、広島マツダ株式会社、広島モータースクール、マツダ株式会社、株式会社マツダレンタカー、三菱重工業株式会社中国支社、ロイヤルドライビングスクール広島、早稲田自動車学園

■参加行政機関

国土交通省中国運輸局、国土交通省中国運輸局広島運輸支局、自動車検査独立行政法人中国検査部、国土交通省中国整備局、国土交通省中国整備局広島国道事務所、経済産業省中国経済産業局、環境省中国地区環境対策調査官事務所、広島県、広島市

2 取組結果

◆参加モニターの実践により、CO₂排出量が約5.1トン削減されました

アンケート調査より、ノーマイカーデーの2日間にのべ約2,700名の方が、自動車利用を控えるなど環境にやさしい交通行動を約3,400回実践していただき、その結果、2日間で二酸化炭素(CO₂)排出量が3.7トン削減されたという効果が得られました。

また、連携策として9月中旬から10月中旬の期間に実施したモビリティ・マネジメント・プログラムにおいて、上手なクルマの使い方を考えるプログラムを約1,400名の方に実践していただき、その結果、期間内の数日間の取組でCO₂排出量が1.4トン削減されたという効果が得られました。

仮に、今回の取組を1年間継続したとすれば、CO₂排出削減量は約824トンとなります。

これは、比治山(南区)の約2倍の広さと同じ森林(スギ約70ha、約6万本)が1年間吸収する量に相当します。

【P4～5(参加モニターの実践状況と成果)参照】

※CO₂排出量は炭素換算値

◆公共交通利用者数は若干増加しました

ノーマイカーデー当日と通常時において、交通量、渋滞長の大きな変化は見られませんでしたが、公共交通機関の利用者数は若干増加しました。

【P6～9(交通実態調査の結果)参照】

◆意識啓発に成果が見られると同時に、取組の継続が望まれています

アンケート調査の結果、環境に配慮した交通行動を続けようと思う方が約89%を占め、意識啓発に成果が見られました。また、約84%の方が取組の継続を望んでいます。

【P10～11(モニターアンケート調査の結果)参照】

◆公共交通のサービス向上を求める声が多くありました

取組を発展させるためには、実施日や対象地域の拡大、PR活動の強化などが必要であると多くの方が感じています。

また、参加者を増加させるためには、代替手段となる公共交通サービスの向上策が必要との声が多くありました。

【P10～11(モニターアンケート調査の結果)参照】

3 今後の取組について

今回の取組は、多くのモニターの方が環境にやさしい交通行動を実践していただくことで、CO₂排出量の削減や環境に関する意識啓発を図ることができたものと考えています。

しかし、一方で同時に実施した交通実態調査ではノーマイカーデーによる渋滞緩和効果を得るまでには至りませんでした。

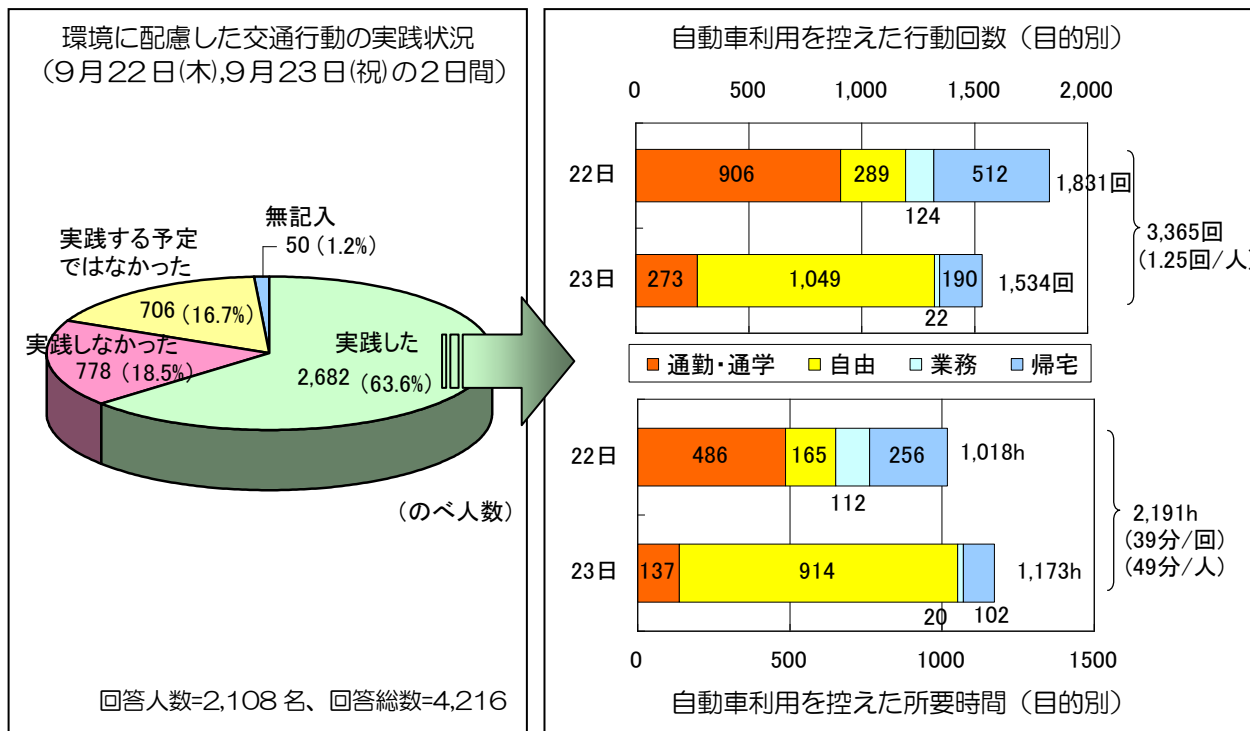
こうしたことを踏まえ、来年度以降、実施日や対象地域、連携策等を発展させるとともに、市民や企業との連携を強め、環境にやさしい交通行動への意識啓発の普及や、行動変化による渋滞緩和など交通環境の改善につながるよう運動を拡大・継続していきたいと考えています。

取組結果(参加モニターの実践状況と成果)

(1) 環境にやさしい交通行動の実践状況

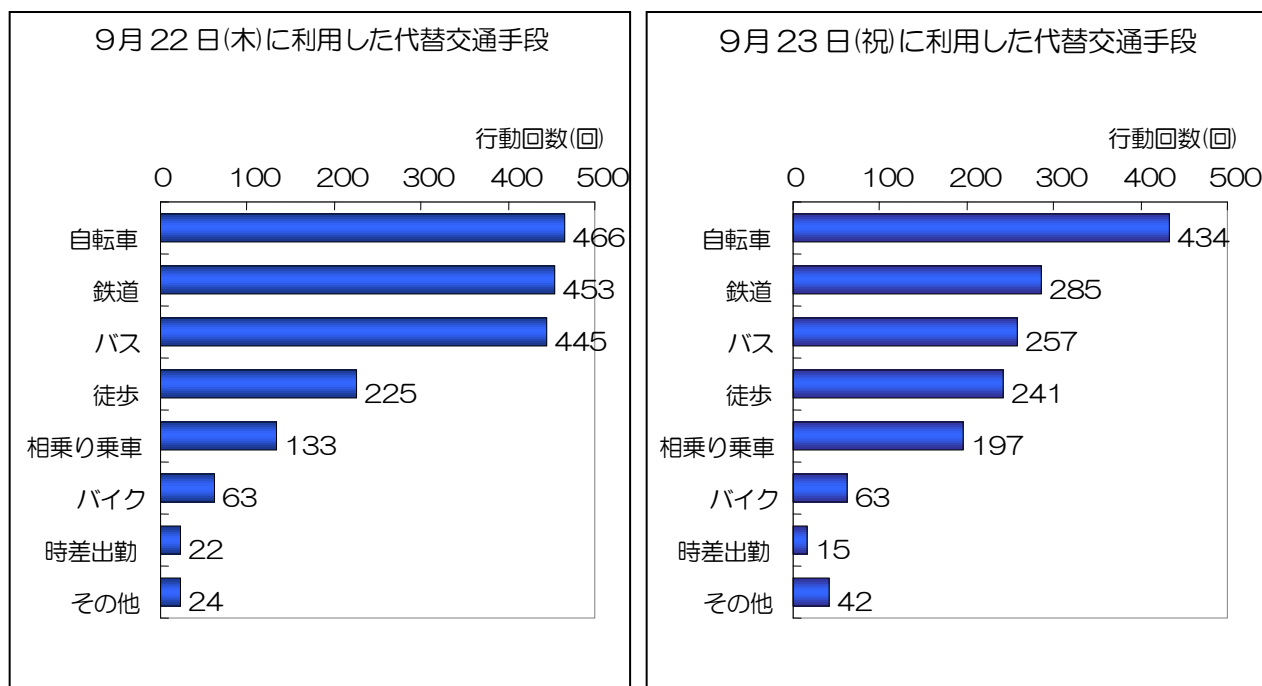
アンケートに回答いただいた2,108名のうち、ノーマイカーデーの2日間に環境にやさしい交通行動を実践していただいた方は、延べ2,682名になり、また、自動車利用を控えた行動回数は3,365回、所要時間は2,190時間になりました。

これを1人当りに換算すると1.25回、49分の自動車利用を控えたこととなります。



(2) 実践内容(代替手段)

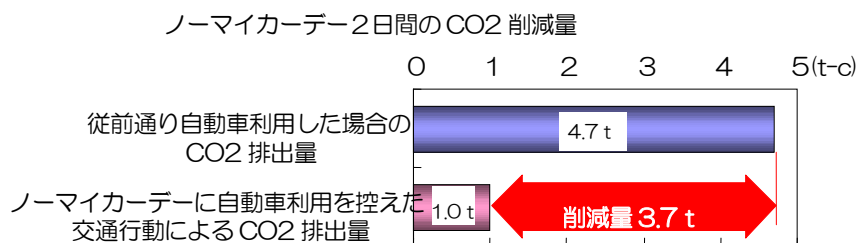
利用された代替交通手段としては、22日、23日とも、「自転車」、「鉄道」、「バス」の順で多くなっています。



(3) ノーマイカーデーの取組による二酸化炭素 (CO₂) 削減量

○ノーマイカーデー参加モニターによる二酸化炭素 (CO₂) 削減量

参加モニターの方が、ノーマイカーデーの2日間に公共交通機関の利用など環境にやさしい交通行動を実践した結果、自動車利用時間の削減に伴う CO₂ 排出量が、2日間で 3.7 トン削減されたという効果が得られました。



CO₂ 排出削減量

| | | |
|---|----------|---------------------------|
| 9月22日(木)の CO ₂ 排出削減量(t-c) [※] | 1.78 トン | 22日,23日の合計 3.70 トン |
| 9月23日(祝)の CO ₂ 排出削減量(t-c) [※] | 1.92 トン | |
| 年間換算値 CO ₂ 排出削減量(t-c) | 667 トン/年 | 平日 240 日、休日 125 日として換算 …① |

※: アンケート調査の自動車利用を控えた時間を基に、交通手段別の CO₂ 排出量原単位 (t-c/人分) を用いて算出

○モビリティ・マネジメント・プログラム参加モニターによる二酸化炭素 (CO₂) 削減量

ノーマイカーデーの連携策として9月中旬から 10 月中旬の間に実施した上手なクルマの使い方を考えるプログラムに約 1,400 名の方が参加し、期間内の数日間の取組で CO₂ 排出量が 1.4 トン削減されたという効果が得られました。

CO₂ 排出削減量

| | 行動見直し前 | 行動見直し後 | 削減量 | |
|----------------------------------|------------|------------|-----------|-----------------|
| 取組による CO ₂ 排出量(t-c) | 6.53 トン | 5.17 トン | 1.36 トン | 有効回答数 906 名の取組値 |
| 一週間当りの CO ₂ 排出(t-c) | 13.16 トン/週 | 10.15 トン/週 | 3.01 トン/週 | 同一行動したと仮定した週換算値 |
| 年間換算値 CO ₂ 排出削減量(t-c) | 684 トン/年 | 527 トン/年 | 157 トン/年 | 52 週/年として換算 …② |

○今回の取組を1年間継続した場合の二酸化炭素 (CO₂) 削減量

仮に、今回の取組を1年間継続した場合、CO₂ 排出削減量は約 824 トンとなります。

これは、比治山 (南区) の約2倍の広さと同じ森林 (スギ約 70ha、約6万本) が1年間に吸収する量に相当します。

| | | |
|----------------------------------|----------|--|
| 年間換算値 CO ₂ 排出削減量(t-c) | 824 トン/年 | ①(667 トン/年) + ②(157 トン/年) |
| スギ樹木換算量(万本) | 5.9 万本 | 森林(スギ)1本当りの年間 CO ₂ 吸収量: 約 14kg-c [※] |
| スギ樹木換算量(ha) | 70.6ha | 森林(スギ)1本当りの占有面積: 約 12 m ² /本 [※] |

※ 「地球温暖化防止のための緑の吸収源対策」(環境省、林野庁) 資料より引用

比治山の面積 約 30ha

= 参考 =

広島市の運輸部門からの年間 CO₂ 排出量(t-c) : 約 47.6 万トン (2002 年度) 「広島市環境局資料より」

広島市の一般家庭 1 世帯における年間 CO₂ 排出量(t-c) : 約 2.6 トン (うち自動車からは約 1.1 トン)

「地球温暖化対策地域協議会資料より」

広島市の森林面積 : 約 46,300ha 「広島市森林づくりプラン 21 より」